

「104万8799人」。2014年度、岡山県立図書館（岡山市北区）に来館した人数だ。ホールなどの利用者は除き、閲覧室に入った人だけをカウントしている。個人の貸出冊数も144万900冊。都道府県立図書館の中で、いずれも13年度まで9年連続最多を誇る。

旧図書館は蔵書三十数万と小規模。04年に開館する新図書館に、県民の期待が高まった。市町村の図書館を支援する役割と同時に、利用者に直接提供するサービスもおろそかにしないことを決めた。

蔵書を増やし、調査相談に力を入れた。特定の本の有無から、知りたいことに関してどのような本があるかなどの問い合わせに、6部門40人余の司書が対応する。13年度の受付件数6万9534件は、東京都立、大阪府立の図書館に次ぐ。

13年度、来館者数2位が山梨の約91万人、貸出冊数2位は大阪の約92万冊。14年度も岡山のトップが続きそうだ。石井宏幸副館長は「県民の信頼を得ている証し」と語る。私はといえば、紙面や出前授業で読者や子供たちの関心に応えられているのか。図書館の真摯（しんし）な努力に至らなさが身に染みた。 【八重樫裕一】